

# UNI-PEX

車載用  
カセット付ミキサー

## 取扱説明書

## NX-500C



このたびは、車載用カセット付ミキサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



、記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

### 安全上のご注意〈必ずお守りください〉

ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**異常が起きたときは、ただちに使用をやめる**

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



**工事は工事店に依頼する**

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。








**分解 / 改造はしない**

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



**異物を入れない**

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。

 <b>警告</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
	<b>表示された電源電圧以外の電圧で使用しない</b> 火災・感電の原因となります。
	<b>運転中に複雑な操作はしない</b> 交通事故やけがの原因となります。
	<b>運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない</b> 運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。
	<b>パイプ、タンク、配線などを傷つけない</b> 車体に穴をあけるとときパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。

 <b>注意</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
	<b>高温部に設置しない</b> エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。
	<b>水のかかるところへ設置しない</b> 雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。
	<b>振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない</b> ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。
	<b>取付ねじはしっかり締める</b> 落下して、交通事故やけがの原因となります。
	<b>正しく配線する</b> 取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。
	<b>電源を入れる前には音量を最小にする</b> 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
	<b>カセットテープ挿入口に、手をいれない</b> 特にお子様にはご注意ください。けがの原因となることがあります。
	<b>オ・ディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。</b>
	<b>1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。</b>

# 各部の名称と説明

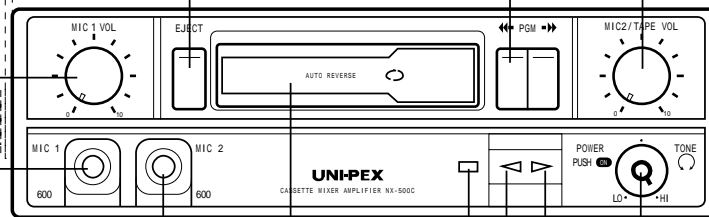
**巻戻しボタン (リバースボタン兼用)**  
再生中、巻戻しをするときこのボタンを押し込んでロック状態にします。停止するときには右側の早送りボタンを軽く押ししてください。また、再生中このボタンと早送りボタンを同時に押しすと、テープ再生面が切り換わります。

**早送りボタン(リバースボタン兼用)**  
再生中、早送りをするときこのボタンを押し込んでロック状態にします。停止するときには左側の巻戻しボタンを軽く押ししてください。また、再生中このボタンと巻戻しボタンを同時に押しすとテープ再生面が切り換わります。

## マイク1音量調節つまみ

**イジェクトボタン**  
カセットテープを取り出すときに押します。

**マイク2 / テープ  
兼用音量調節つまみ**



**音質調節 / 電源  
スイッチ兼用つまみ**  
押しすと本機と電力アンプの電源が入ります。再び押せば本機と電力アンプの電源が切れます。音質調節はこのつまみを右方向へまわすと高音が強調され、左方向では低音が強調されます。

**マイク2入力ジャック**  
( - 46dBV、600 、不平衡)

**マイク1入力ジャック**  
( - 46dBV、600 、不平衡)

**テープ走行方向表示灯**  
テープの走行状態を示します。

## カセットテープ挿入口

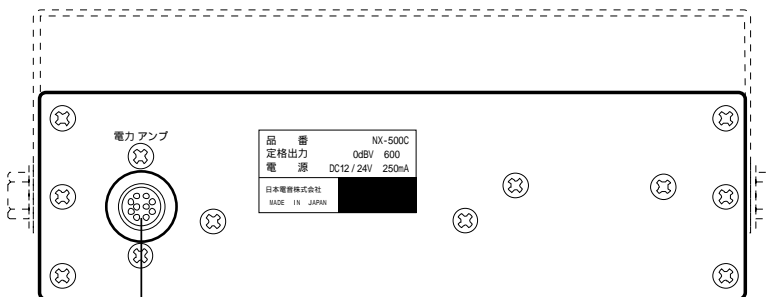
カセットテープを挿入しますと再生が始まります。電源が「切」でも自動的に電源が入りますが、電力アンプに電源が入り再生音を放送するまで少し時間がかかりますので、その間は音声が出ません。

**電源表示灯**  
電源が入ると赤色に点灯します。

注)イジェクトボタンを押しカセットテープを取り出した場合でもテープ走行表示灯が点灯しているときは、イジェクトボタンをもう一度押し、表示灯が消えていることを確認してください。

## 前面

## 後面



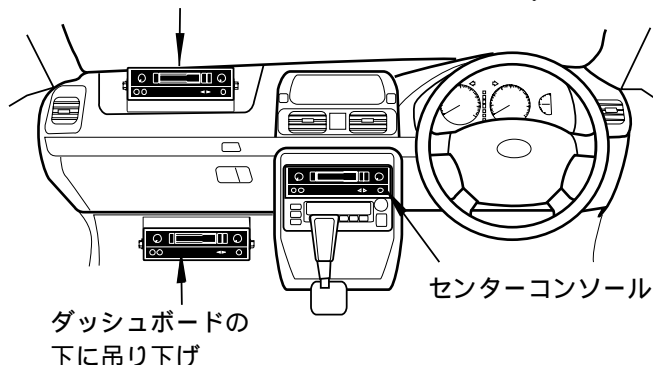
**電力アンプ接続コネクタ**  
別売のミキサー接続コードLB-710で電力アンプに接続します。

# 取付方法

本機はカーオーディオの標準規格として幅広く採用されているDIN規格サイズです。取付箇所は車種によって異なりますが、図1のようにセンターコンソール内に組み込んだり、付属のコの字形金具を利用しダッシュボードのトレーや下部に取り付けて、ご使用ください。(図 1、2参照)

図1 ダッシュボードのトレー

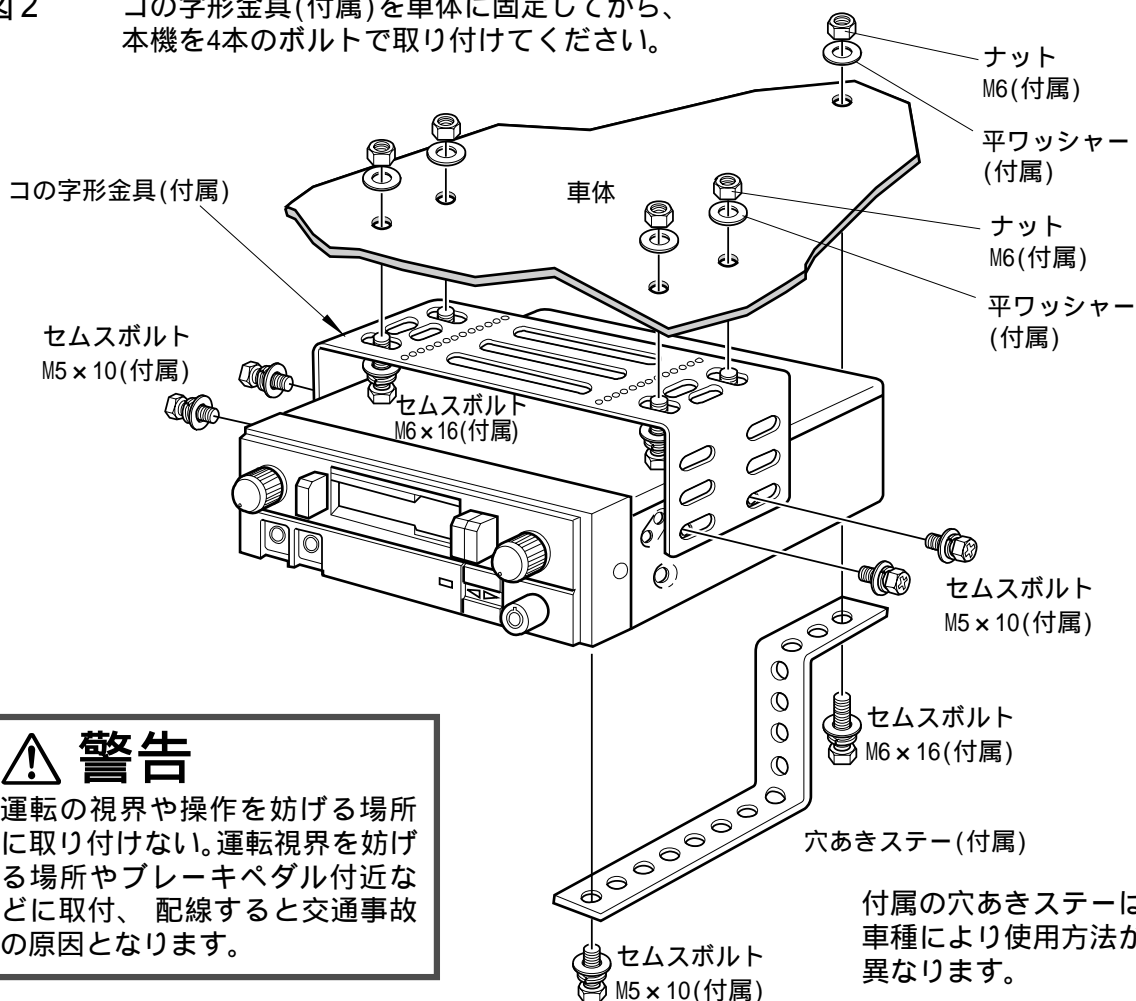
注) 車種により取り付けられない場合があります。



## 警告

エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に取り付けない。エアバッグの作動不良による事故や、けがの原因になります。

図2 コの字形金具(付属)を車体に固定してから、本機を4本のボルトで取り付けてください。



## 警告

運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

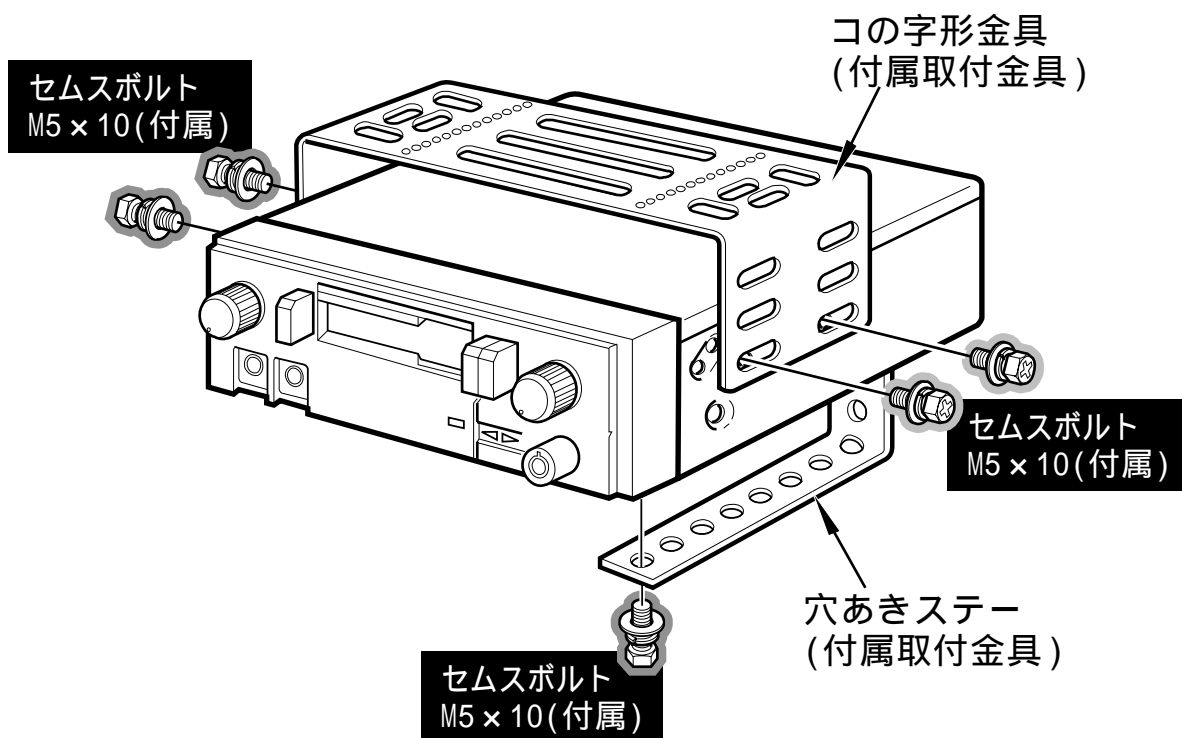
付属の穴あきステーは車種により使用方法が異なります。

# ⚠ 注意

**本体（側面 / 底面）には指定以外のボルトを使用しない**

本機と取付金具(付属)を固定するときに、指定以外のボルトを使用しますと内部の部品が破損し、故障の原因となることがあります。必ず付属のセムスボルト (M5 × 10) を使用して本機と取付金具を固定してください。

**!** ボルトを使用する前に必ずサイズを確認する



# カセットテープについて

本機はノーマルテープ専用です。メタルテープ、クロムテープは使用できません。  
 C-120テープやエンドレステープは巻きつきをおこしますので、使わないようにしてください。  
 使用しないときは、必ずテープを取り出してください。テープをセットしたままにしますと、故障の原因になります。

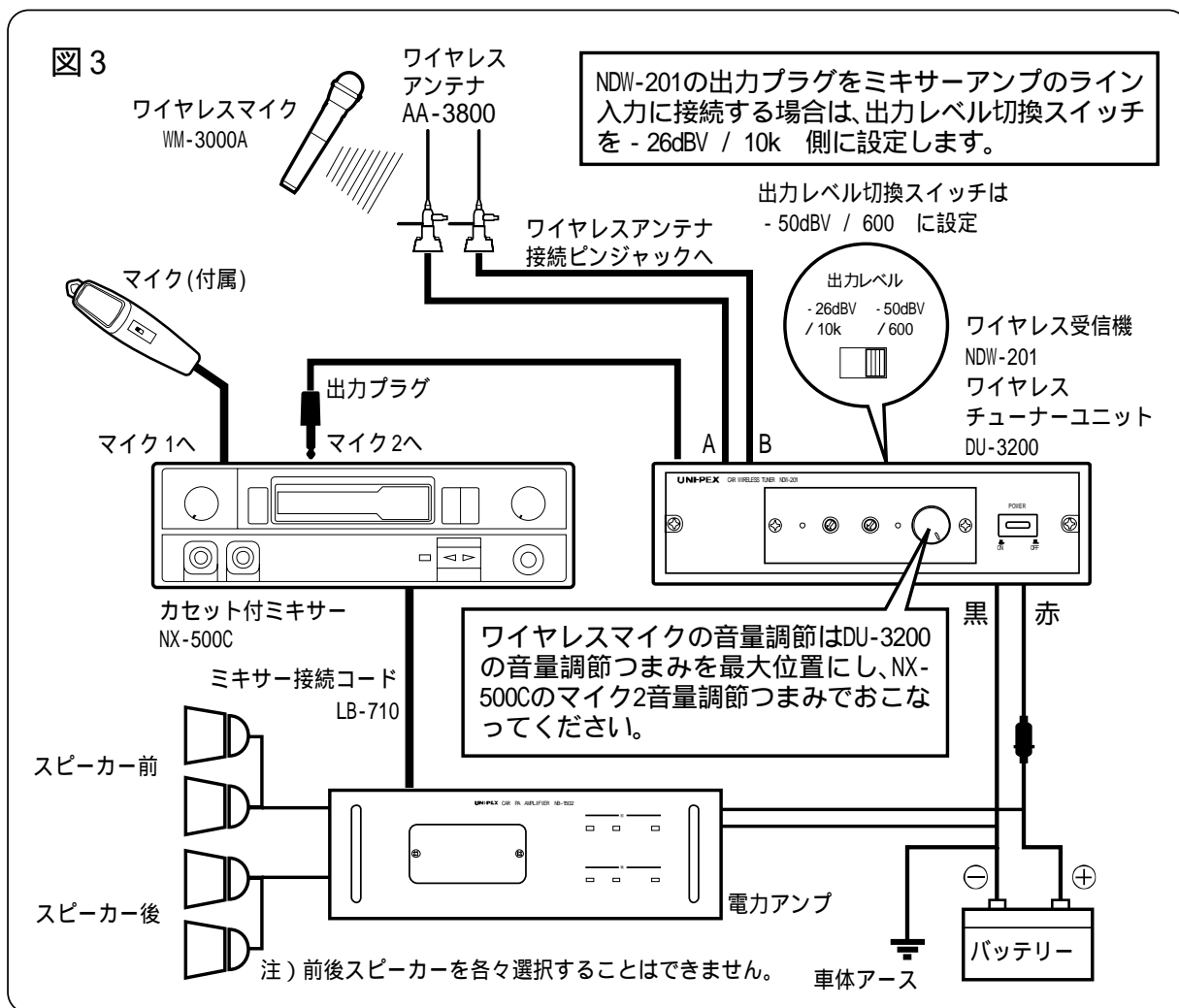
# お手入れのしかた

テープヘッドに汚れやゴミが付くと音質が悪くなり、音とびの原因になります。また、ピンチローラーが汚れているとテープを巻き込むことがありますので、定期的に清掃をおこなってください。ヘッドの清掃には市販のヘッド・クリーニングカセットテープをご利用ください。

# 携帯電話の使用について

本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

# 相互接続図（例）



# マイクロホンの上手な使い方

マイクロホンを効果的に使うために、特に注意しなければならないのが、ハウリング(キーンと言う音)です。これは、スピーカーから出てきた音が、マイクロホンに戻り、音が循環することから起る現象です。これを防止するためには、音源以外の音をとらえにくい単一指向性マイクを使用し、マイクとスピーカーの位置に注意しながら設置することで、ハウリングの発生を避けることができます。

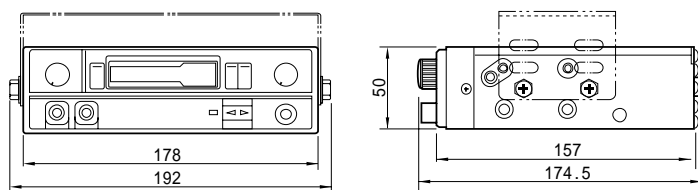
マイクロホンを使用する場合は、極端に口元に近づけたり離したりせず、なるべく一定の距離で使用してください。この距離は、2~5センチメートルぐらいが理想的です。また、マイクロホンには息をふきかけないように注意して使用してください。

マイクロホンを手で持ち使用する場合は、マイクの頭を手でにぎらないでください。マイクの頭を手でふさぐと低音だけが強調され、忠実な拡声ができまませんので、正しくマイクの中央部をにぎってお使いください。

## 定格

使用電源	DC 10V ~ 32V(標準14V/28V) 12V/24Vバッテリー マイナスアース専用 (電力アンプより受電)
消費電流	250mA以下
定格出力	0dBV 600 平衡 (専用プラグ付コードにて電力アンプと接続)
ひずみ率	1%以下 (カセット部を除く)
周波数特性	200Hz ~ 10kHz ±3dB (1kHz基準) (カセット部を除く)
入力感度及びインピーダンス	マイク1: -46dBV 600 不平衡 音量調節器付 マイク2: -46dBV 600 不平衡 音量調節器付 (カセットと兼用)
音質調節	10kHzにおいて -10dB (1kHz基準)
早送り・巻戻し時間	約180秒 (C-60使用時)
テープ速度	4.75cm/sec
ワウ・フラッター	0.38% WRMS 以下 (水平使用)
信号対雑音比	60dB以上 (カセット部を除く)
動作表示	テープ走行方向表示: 発光ダイオード 緑 電源表示: 発光ダイオード 赤
使用温度範囲	-10 ~ +55
外装	パネル: ABS樹脂 マンセルN1 近似色 ブラック ケース: ビニール鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック
外形寸法 / 質量	幅178mm 高さ50mm 奥行174.5mm / 約1.1kg
付属品	取扱説明書 (保証書付)、マイクロホン 1、コの字形取付金具 1、穴あきステー 1、セムスボルト (M5×10) 5、セムスボルト (M6×16) 5、ナット (M6) 5、平ワッシャー (M6用) 5

## 外観寸法図 (単位:mm)



製造元 日本電音株式会社  
発売元 ユニペック株式会社